

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		中小企業総合コンサルティングネットワーク					所管	文化産業観光部 産業振興課
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	2	計画事業名	中小企業総合コンサルティングネットワーク			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化						
		[小 柱] (1) 中小企業の経営革新支援						
		[施策] ①経営基盤の強化支援						
	根拠法令等	その他	[法令等名]	法政大学 地域研究センターとの協定書				
	事業対象	区内中小企業の経営者等						
	事業目的	区内中小企業の経営者に対して、大学が持つ豊富な知識・人脈を活かし、企業が抱えている課題や問題の解決をすることを目的とする。						
	事業内容	法政大学 地域研究センターが中心となり、大学や大学院、付属研究機関や他大学の持つ豊富な知識を最大限に活用しながら、売上や利益などに囚われない他の相談とは異なった角度から区内中小企業が抱える様々な問題に対しての助言や解決策の検討・実践を行う。						
委託の有無	全部委託	委託内容	コンサルティングネットワーク実践委託					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	実施回数	回	15	2	3	0	
		成果指標	相談企業数	件	3	1	1	-
	相談企業の満足度		%	100	100	100	-	
	決算額 (単位：千円)				121	178	0	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			2,550	1,604	1,607	
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			122	178	0	
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			0	0	0	
		総経費			2,672	1,782	1,607	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0	
その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0			
一般財源（区負担額）			2,672	1,782	1,607			
前回評価から改善した事項	平成28年度に学生を活用した取組はテスト的に行ったが、本事業のコンサルティング事業とは目的が異なったため、現在、法政大学側と今後の事業の方向性について再度協議を重ね、他のセミナー等と組み合わせた事業提案を検討している。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	産学連携事業として、中小企業診断士などの専門家とは違った切り口での支援の必要性は高い。					
	効率性	2	大学講師陣は他の支援機関とは違った特殊な人脈を持っており、他の支援機関との使い分けを行う事で高い効率性が発揮される。					
	手段の適切性	2	様々な相談内容に応じた専門の大学の専門研究者が、中小企業診断士などとは違った切り口で相談対応出来、適正な手段である。					
	目的達成度	2	事業者に対して活用しやすいよう、事業内容の再考が必要と考える。					
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）							評価結果	
平成28年度に「若手サポートセミナー」の中で、法政大学の学生に発表してもらったが、本事業の目的とは異なるものとなった。産学連携での中小企業支援は、中小企業診断士などの専門家とは違った視点での相談対応となり重要ではあるが、近年、相談実績が伸び悩んでおり、事業内容や周知などを含めた相談体制のあり方を再考する必要がある。					今後の方向性	改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		